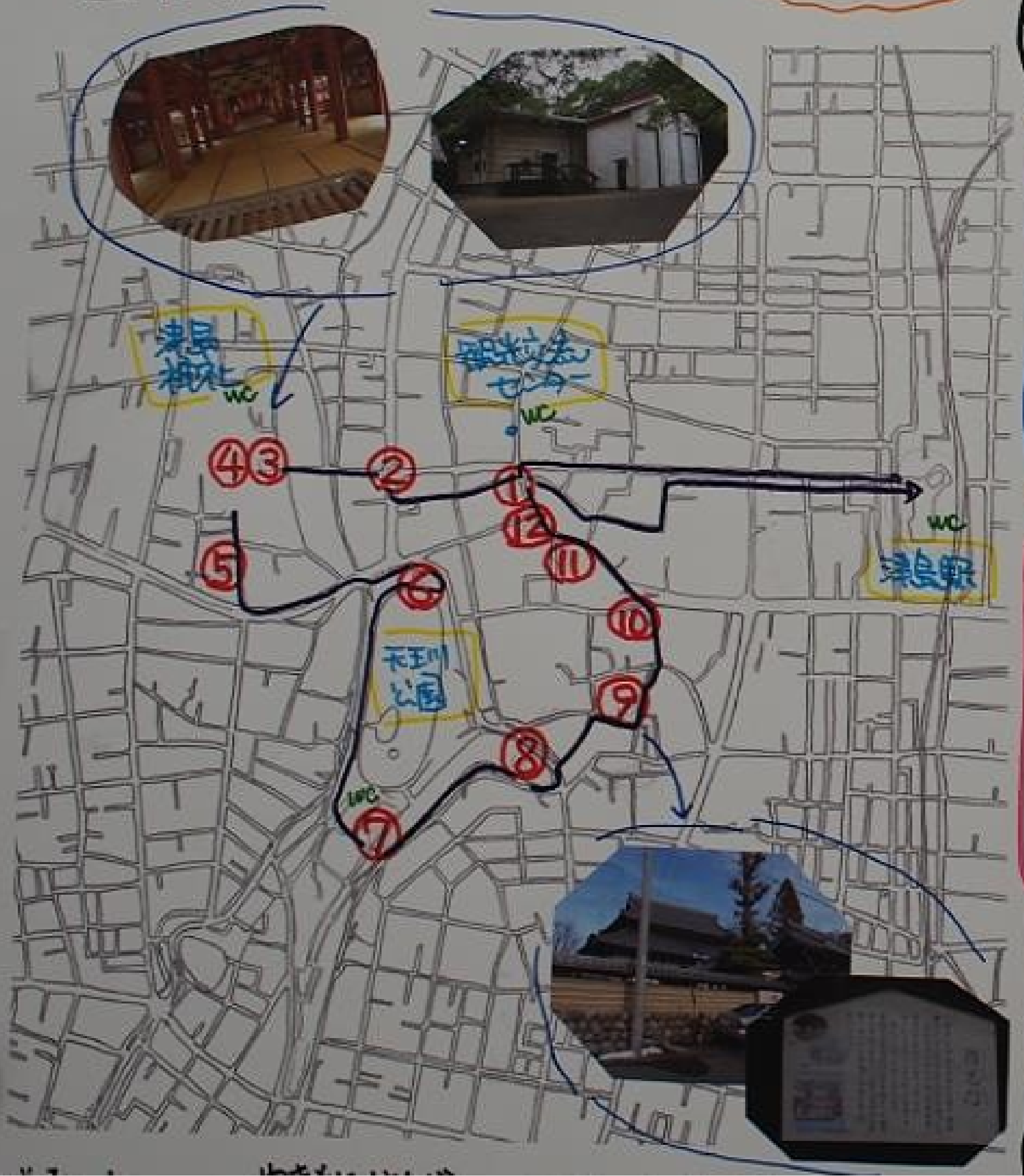
津島四大まつり舞台めぐり

歴史ある神事３種と最近30年の藤まつりの四季を楽しむ『津島の四大まつり』の舞台ウラを巡ります。

オススメ

まつり好きの人
健脚な人



① 堤下神社（井戸）
津島神社にお詣りした際に立ち寄る所。これを「遥拝所」と呼びます。

② 池須の交差点
かつては天王川の川底でした。今は、秋まつりの山車の車切やからくり奉納をこの場所で行います。

③ おみと楼門
正月に行うおみと祭り。燃える大松明が、この楼門をくぐります。

④ 稚児打廻しを行う拝殿
天王祭・宵祭の前夜に行う神事「稚児打廻し」を行う舞台。

⑤ 氏神様（居森社）
秋まつりの際、向島（[illegible]町・中野町・上之町の3地区）の山車が集まります。

⑥ 御旅所（天王祭みこし）
天王祭の時、御神体がおみこしで渡御する場所。ゆえに御旅所と呼びます。

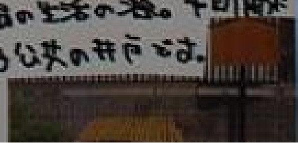
⑦ 藤まつり
春の藤まつりの会場。木陰があり、藤の木陰で昼でも楽しめます。

⑧ 車河戸
天王祭の準備やまきわら船の提灯点灯、乗り込みなどの舞台です。全国探してもこの風景は見ることができません。

⑨ 瑞泉寺・稚児門
津島四ヶ寺の一つである大[illegible]の[illegible]寺。神様のりかわりとなる御稚児がここから乗船。天王祭の主役をつとめます。

⑩ 道路元標
津島の地図をつくる時の

⑪ 坂口の井戸
津島の生活の源。本町筋にある公共の井戸です。



⑫ 津島神社
街道
上街道と下街道の合流点。